

建設業における化学物質の危険性に起因する災害事例
(2022年発生分 労働者死傷病報告より)

業種名_中分類	職種	原因化学物質	傷病名	災害発生状況_原因
土木工事業	補修工	シンナー＋火花	II度熱傷	高所作業車上で、電動工具を使用して、ケレン作業中、シンナー入りバケツに延長コードが絡まりバケツが倒れた、慌ててコードをたぐり寄せた時にコードが接続部から抜け、ショートし火花がこぼれたシンナーに引火して燃え広がり、その炎で火傷を負った。
建築工事業	解体工	ガソリン＋ガス切断のアー ク	全身火傷	家屋解体工事現場において、家屋のガス切断補助作業中、ガス切断によるアー クが近くにあったガソリン携行缶に引火してしまい、消火するため引火したガ ソリン携行缶を移動させるため手で持ったところ、自身に引火しえしまい、全 身火傷となる。
その他の建設業	仕上工	メタノール	両上肢第3度熱傷、 左足背部第2度熱傷、 顔面第2度熱傷	メタノール蒸発器で、蒸発器の下部の配管のフランジを開放しようとボルトを 緩めた所、管内から液体が吹き出した為、一旦退避した。流出を止めようと戻 り、ボルトを締めようとした際、発火し被災した。
土木工事業	配管工	漏れたガス＋ガスバーナー	熱傷潰瘍	下水取付替工事を施工した後、市道の一部分が埋没したため、道路補修工事を 行おうと被災者がガスバーナーに着火したところ、周辺にガスが漏れていて引 火し、慌ててガスボンベの栓を閉めようとして、右手・左手・顔の頬部分に火 傷を負いました。（被災当時強風だったため、ガスの臭いに全く気付かず、ガ スボンベとガスバーナーの取付の不具合に気が付かなかった。）
土木工事業	ライン工	LPガス＋火種	熱傷	路面標示作業用ニーダー車の熔解釜に着火しようと都市L Pガス元栓を開いた が普段は締まっているはずの手元バルブが開いたままになっていたためバー ナー付近にガスが充填された状態に気付かないまま火種を投入したところ不意 に着火し両手甲及び顔面周辺に熱傷を負った。
土木工事業	トンネル作業員	ガソリン	広範囲熱傷	現場ヤード内で排水用の仮釜場に使用するため、ドラム缶をガスで切断しよ うとした際、ドラム缶内部に付着していたガソリンに引火し、火が上がり、左脇 腹、左腕、顔の一部を火傷した。使用したドラム缶はガソリンスタンドより譲 り受けた。ドラム缶内に作業油が入っていたため、ガソリンスタンド側がガソ リンを用いて洗浄を行っていた。
その他の建設業	配管工	冷媒ガス	火傷	作業先の店舗にて、冷凍設備のチルドケース内の電磁弁交換作業中配管を切断 する際に、冷媒ガスが噴出し、両手にやけどを負った。2系統の配管があり、冷 媒回収機器を間違え切断してしまったためにガスが噴出したもの。
土木工事業	重機オペレーター	高温の液体	火傷	重機の水温計が上がった為、確認をしようとラジエーターキャップをあけてし まった。高温の液体がとびだし右手から右ひじにかけてヤケド。すぐに救急外 来で応急処置をしてもらい、翌日、皮フ科を受診するよう言われ受診した。
その他の建設業	製缶工	トルエンガス＋ガス切断機	骨折	大型塗装ブースの更新の為の出張業務中、既設塗装ブースを解体するにあた り、同僚のガス切断作業の監視人としてピット上にて作業中、ガスの火がピッ ト内のトリエンガスに引火し爆発した。その際、ピットの蓋（鉄製）が跳ね上 がり、その蓋が本人の右脚大腿部に当たり骨折したものです。（休業日数はリ ハビリを含めて2ヶ月程度と見込んでます）
その他の建設業	土工	不明	不詳	水道施設の梯子の取り換え工事の作業中に2名が深さ20mのマンホール内でク レーンを使って梯子を下ろす際、一人は10m付近、もう一人は20m付近で作業 をしている最中に突然爆発した。1人は即死、残りの1人がマンホール内で取り 残された。その後、救出されたが病院で死亡が確認された。
その他の建設業	鍛冶工	粉塵＋工事で発生した火種	熱傷	計量器BOX撤去工事を行う際、周囲の灰除去を行っていた。清掃した灰を シュートで落とした際、粉じんがシュート（ダクト）内で舞い上がり、そこへ 工事で発生した火種が入り爆発に至り負傷した。4名被災